

平成22年度 国語表現 I のシラバス

1 科目名, 単位数, 履修学年, 履修区分, 使用する教科書

科目名	国語表現	単位数	2	履修学年・区分	2 学年 2 単位
使用する教科書	第一学習社 国語表現 I				
副教材等	第一学習社 国語表現 ワークシート				

2 学習目標

国語の基礎である漢字力・語彙力を豊かにすることによって、自由な文章表現が可能なようにする。またそれだけでなく四字熟語・ことわざ・類義語・同訓異字・等にも親しむようにする。文章表現に関しては、慣用的な表現や正しい敬語の知識を身につけ、文体を統一し、事実を客観的に描写する力や、自分の考えを論理的に主張する表現を練習することによって身につける。また、レポートの書き方、手紙文の書き方なども具体的に指導し身につける。

3 学習方法

- ① 副教材を利用し、漢字の読み書きを辞書を利用しながら学習する。
- ② 副教材を利用し、慣用的に正しい表現や敬語の使い方を身につける。
- ③ 副教材を利用し、レポートを書く練習を行う。
- ④ 副教材を利用し、手紙文の書き方を学習する。

4 学習計画

学期	月	学習内容 (単元名)	学習事項・学習活動	評価のポイント
第 1 学 期	4	誤りやすい漢字	副教材の問題演習。 基本的な表現になれる。	辞書を利用し、正しく解答できたか。テキスト提出。
		同音同訓の漢字		
	5	類義語	副教材の問題演習。 基本的な表現になれる。 紛らわしい文章表現を正す。	辞書を利用し、正しく解答できたか。テキスト提出。
		慣用表現	副教材の問題演習。 効果的な正しい辞書の利用。	辞書を利用し、正しく解答できたか。テキスト提出。
7	敬語表現	副教材の問題演習。 基本的な表現になれる。 紛らわしい文章表現を正す。	辞書を利用し、正しく解答できたか。テキスト提出。	
	第 2 学 期	9	かな遣い・送りがなの付け方	副教材の問題演習。 基本的な表現になれる。 紛らわしい文章表現を正す。
句読点・区切りの使い方				
10		かなと漢字の使い分け	副教材の問題演習。 基本的な表現になれる。 紛らわしい文章表現を正す。	辞書を利用し、正しく解答できたか。テキスト提出。
		11	文体の使い分け あいまいな表現をなくす	副教材の問題演習。 正しい表現の理解。
文の乱れをなくす	副教材の問題演習。		辞書を利用し、正しく解答でき	

	12	文を区切って各	正しい表現の理解。 短文をつくる演習。 誤った文章表現を正す。	たか。テキスト提出。
第 3 学 期	1	表現を工夫する	副教材の問題演習。 段落の理解。 短文をつくる演習。	辞書を利用し、正しく解答できたか。テキスト提出。
	2	接続句と指示語	副教材の問題演習。 資料を読解し文章を作る。	辞書を利用し、正しく解答できたか。テキスト提出。
	3	悪文治療	副教材の問題演習。 テーマに沿って文章を作る。	辞書を利用し、正しく解答できたか。テキスト提出。

5 学習評価

(1) 評価の観点及び内容について

以下に示す三つの観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

なお、学習計画に示された「評価のポイント」は三つの観点と結び付いた具体的な評価基準と考えます。

評 価 の 観 点 及 び 内 容	
1 授業・教材に対する「関心・意欲・態度」	教材・辞書を用意し意欲的に活用したか。
2 辞書の正しい効果的な活用	演習問題の解答に当たり、正しく効果的に辞書を活用できたか。
3 正しい文章表現	目的に沿った正しい文章を書くことができたか。

(2) 「評価の観点」の評価方法について

学習状況の観察・副教材等の提出物・定期考査によって総合的に評価します。